

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算      支出科目 款：教育費      項：教育総務費      目：教育指導費

### 事業名    子供SOS24電話相談事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

学校安全課 教育相談担当 電話番号：058-271-3328 (直通)

E-mail：[c17770@pref.gifu.lg.jp](mailto:c17770@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費            4,268 千円 (前年度予算額：4,268 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,268	1,346	0	0	0	0	0	0	2,922
要求額	4,268	1,346	0	0	0	0	0	0	2,922
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動は、社会問題となっている。
- ・学校内外での相談体制の充実により、いつでも児童生徒や保護者の悩みを受け止める相談窓口が必要である。

### (2) 事業内容

- ・子供SOS24電話相談により、夜間・休日・祝日を含めた24時間体制で対応ができる。
- ・電話相談員が相談者の気持ちを受け止めて、悩み等の軽減や解決を図る。
- ・事業周知のために電話相談広報カードを作成し県内全児童生徒に配布する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県10 / 10
- ・県内の児童生徒への支援であり県負担は妥当

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	3,416	謝金(子供SOS24電話相談員8名分)
需用費	185	印刷製本費(電話相談広報カード)
役務費	667	通信費(電話料金、携帯電話基本料金)
合計	4,268	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン  
基本方針2 多様な学びを支援する教育体制の充実  
目標10 いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応の徹底

(2) 国・他県の状況

- ・文部科学省では、「いじめ対策等総合推進事業」で「24時間子供SOSダイヤル」を概算要求

## 事業評価調書

 新規要求事業 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

## (事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

24時間、電話相談に対応できるように、平日昼間から夜間・休日・祝日にも拡充した相談体制を、いじめ等に悩み苦しむ児童生徒やその保護者に寄り添い支援するために、維持、継続します。

## (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
いじめの認知件数	—	小 3,086	小 5,684	小 7,178	小学校 0	—
		中 1,445	中 2,011	中 2,552	中学校 0	
		高 501	高 598	高 554	高等学校 0	
		(H29)	(H30)	(R1)	(R5)	
	(H )	(H )	(H )	(H )	(H )	%

## ○指標を設定することができない場合の理由

--

## (前年度の取組)

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

夜間・休日・祝日の子供SOS24電話相談員として、児童生徒の悩み等を聞くことに精通した教員OB等で対応しました。

事業周知のために電話相談広報カードを作成し、県内全児童生徒に配布しました。

## (前年度の成果)

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

県内全児童生徒を対象に電話相談広報カードを配布したところ、1,643回の電話相談を受けています。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	いじめ等が社会問題化しており、24時間の電話相談体制の充実は必要性が高くなっています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果を得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	いじめ等緊急的な対応が必要な場合のセーフティネットとして24時間の電話相談体制はとても有効です。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	適切な事業の実施により、効率化を図っています。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>「子供 SOS24 電話相談」が児童生徒にとって一層身近なものとなるよう、不安や悩みがある時は、信頼できる相談相手の一つとして「子供 SOS24 電話相談」等を利用するとよいことを広報カードの配布を通して周知します。</p>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>24時間の電話相談体制を維持、継続し、いじめ等に悩み苦しむ児童生徒やその保護者に寄り添い支援をしていきます。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	